

一九四八年の創業以来「最高級品質、本物のコーヒー」をと日々努力を続け、グローバルな視点での経営、人材育成を行ってきたポインタイン珈琲本社（名古屋市中区）。同社副社長の加藤あつこさんは、先代社長のもとに嫁ぎ同社の経理担当として働き始めた。以来約五〇年、今も精力的に活躍中である。



加藤あつこさん

「かわいらしい」という言葉が似合う加藤さん。取材中も常に前向きな言葉で語り、人を大切にする姿勢とチャールミングな人柄に惹かれ多くの人が集まってくるのかわかる。夫の会社で経理担当者として働き続けて約五〇年。そんな女性なら男性的な面が見えそうだが少女のようなたたずまいである。

「金庫番の仕事をずっとやってきました」と静かに語る加藤さん。ところが自社のことになると、会社の成長を常に考える敏腕ビジネスマンの横顔も見せる。現在は、ポインタイン珈琲の副社長だけでなくグループ会社の社長も務める。名古屋商工会議所監事、名古屋名北ロータリークラブ会長などの要職にも就き、七十歳の今も社会の

な
で
し
こ
こ
力

美味しいコーヒーの提供のために五〇年 「私は仕事に育ててもらいました」

ためにフル回転で働き続けている。

二〇一一年には中部大学大学院に入学。仕事を終えた夕方から大学院に通い、経営情報学研究科で経営学を二年間学び論文を書き上げた。MBAを取得。大学院を卒業後も忙しく働く毎日。「会社の金庫番を、粗相の無いように継続してきました。自分の後に担当した人が誰がやっても出来るように、システムや仕組みを作りあげてきました」と語った。社是である「真・善・美」を心に持ち続けている。

加藤さんは一九七一年に恋愛結婚。直後から、夫の父親が社長を務めるポインタイン珈琲の経理担当として働き始めた。一〇〇人を超える会社で女性が第一線で働くことがめずらしい時代だ。「呉服屋の娘でしたから働くことが大好きだったので、（夫の会社で働くのも）苦になりませんでした。それに夫の両親はすぐく守ってくれて、未熟な私を育ててくれました。裏表が無く、叱るときは私のために直接怒ってくれたので素直に聞きました」。

ところが困難が結婚数年後にや